

学校施設長寿命化計画



令和3（2021）年3月

与謝野町

与謝野町宮津市中学校組合

1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的	1
2. 学校施設の目指すべき姿	2
3. 学校施設の実態	2
4. 学校施設整備の基本的な方針等	4
5. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	5
6. 長寿命化の実施計画	6
7. 長寿命化計画の継続的運用方針	7

1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的

目的・背景

与謝野町は小学校6校、中学校3校を所有していますが、大規模改修の目安とされる建築後30年に達した建物が37棟中31棟あり、そのうち40年以上経過した棟は25棟あることから、施設の老朽化対策が喫緊の課題となっています。

これまでの事後保全的な改修・改築ではなく、施設の長期間の利用を目指し、予防保全的な考え方を取り入れた長寿命化改修を行っていく必要があります。

●学校施設の劣化状況や状態の変化を把握

●中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び平準化

●学校施設に求められる機能・性能の確保

平成18(2006)年3月
与謝野町が誕生

岩滝町 加悦町 野田川町

保有する公共施設

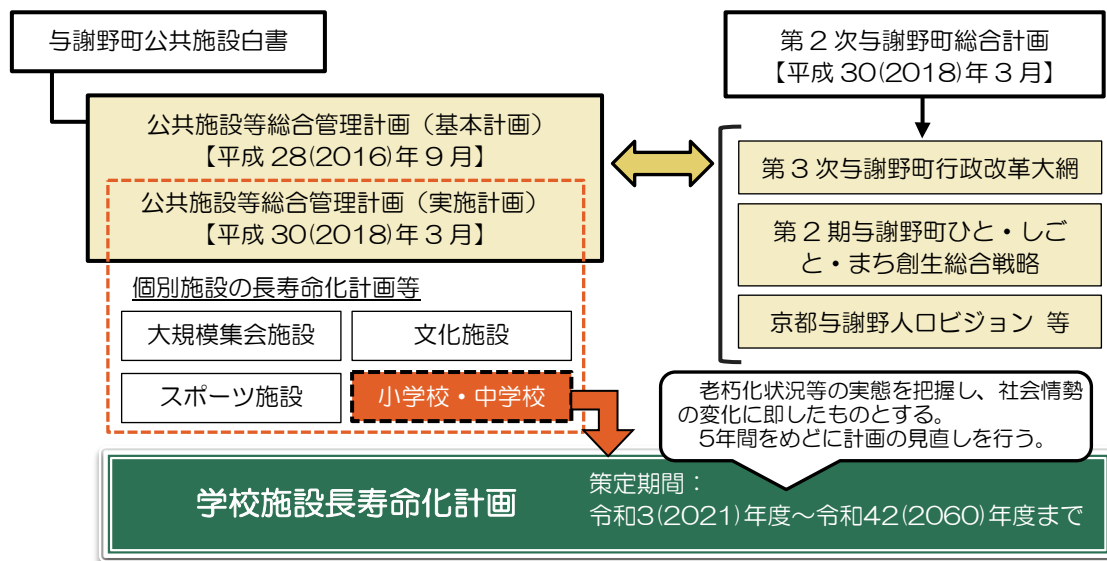
197施設
延床面積134,933㎡

学校施設

12施設
延床面積49,184㎡

約36%
の延床面積

計画の位置付けと計画期間



対象施設

	施設数	校舎		体育館・武道場		その他		計	
		棟数 (棟)	延床面積 (㎡)	棟数 (棟)	延床面積 (㎡)	棟数 (棟)	延床面積 (㎡)	棟数 (棟)	延床面積 (㎡)
小学校	6	12	18,530	6	4,901	7	719	25	24,150
中学校	3	7	15,275	4	4,689	1	9	12	19,973
合計	9	19	33,805	10	9,421	8	728	37	44,123

2. 学校施設の目指すべき姿

必要に応じた再編計画

- ・児童数・生徒数の減少を考慮しながら適正規模適正配置を維持できるよう計画する。
- ・学校・地域への愛着、人への思いやりなどの精神面も学べる環境を整備する。

変化する教育環境への対応

- ・学習能率の向上に資する快適な学習環境を整備する。
- ・バリアフリーや社会環境への影響に配慮した教育環境を整備する。

3. 学校施設の実態

学校施設の運営状況・活用状況等の実態

●児童生徒数の推移と予測

(年度) (区分)	実数			推計				
	平成 22 (2010)	平成 27 (2015)	令和 2 (2020)	令和 7 (2025)	令和 12 (2030)	令和 17 (2035)	令和 22 (2040)	令和 27 (2045)
児童数	1,419	1,130	934	834	703	592	505	425
生徒数	887	788	650	535	457	386	329	276
合計	2,306	1,918	1,584	1,369	1,160	978	834	701

●対象施設一覧

施設名	延床面積(m ²)			
	校舎	体育館	その他	計
加悦小学校	3,538	905	11	4,454
岩滝小学校	4,658	1,269	548	6,475
石川小学校	2,185	442	29	2,656
三河内小学校	2,761	567	73	3,401
市場小学校	3,144	1,221	20	4,385
山田小学校	2,244	497	38	2,779
小学校計	18,530	4,901	719	24,150
加悦中学校	4,871	1,888	0	6,759
江陽中学校	5,562	1,653	0	7,215
橋立中学校	4,842	1,148	9	5,999
中学校計	15,275	4,689	9	19,973
合計	33,805	9,590	728	44,123

●施設保有量

	棟数	面積合計	構成比
築 50 年以上	2 棟	253 m ²	0.6%
築 49~40 年	23 棟	25,819 m ²	58.6%
築 39~30 年	6 棟	10,866 m ²	24.6%
築 29~20 年	2 棟	102 m ²	0.2%
築 19~10 年	1 棟	324 m ²	0.7%
築 10 年未満	3 棟	6,759 m ²	15.3%

旧耐震基準
(1981 年以前)
28 棟(76%)
2.9 万m²(65%)

新耐震基準
(1982 年以後)
9 棟(24%)
1.5 万m²(35%)

●過去 5 年間の施設関連経費（平均）

	与謝野町立 小中学校	計	橋立中学校	計	合計
施設整備費	約 5.79 億円	約 6.94 億円	約 0.12 億円	約 0.49 億円	約 7.43 億円
維持管理費	約 1.15 億円		約 0.37 億円		

学校施設の老朽化状況の実態

●各棟の健全性及び劣化状況

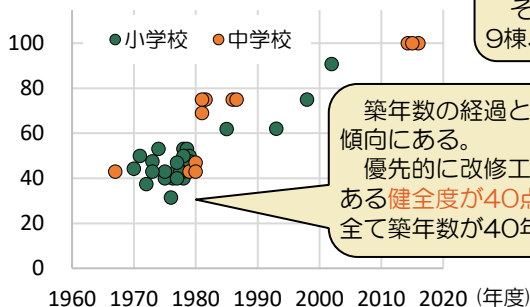
A : 概ね良好 B : 部分的に劣化 C : 広範囲に劣化 D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報										構造躯体の健全性					劣化状況評価					
通し 番号	施設名	建物名	構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)	
						西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/㎡)							試算上の区 分
1	加悦小学校	校舎1	RC	2	930	1976	S51	44	旧	済	済	H15	33.2	長寿命	C	D	C	C	C	31
2	加悦小学校	校舎2	RC	2	2,608	1985	S60	35	新	-	-			長寿命	B	B	C	B	B	62
3	加悦小学校	体育館	RC	2	905	1978	S53	42	旧	済	済	H17	19.2	長寿命	B	B	C	C	C	53
4	加悦小学校	プール施設	CB	1	11	1970	S45	50	旧	-	-			長寿命	C	C	C	C	B	44
5	岩滝小学校	校舎1	RC	2	1,980	1977	S52	43	旧	済	済	H16	30.5	長寿命	C	C	C	C	C	40
6	岩滝小学校	校舎2	RC	2	1,300	1978	S53	42	旧	済	済	H16	20.6	長寿命	B	C	C	C	C	43
7	岩滝小学校	校舎3	RC	1	992	1978	S53	42	旧	済	済	H18	25	長寿命	C	C	C	C	C	40
8	岩滝小学校	校舎4	RC	1	386	1978	S53	42	旧	済	済	H18	24.2	長寿命	B	C	C	C	C	43
9	岩滝小学校	校舎5(給食棟)	RC	1	501	1978	S53	42	旧	済	済	H18	27.8	長寿命	B	C	C	C	C	43
10	岩滝小学校	体育館	S	2	1,269	1978	S53	42	旧	済	済	H15	24.4	長寿命	B	B	C	C	C	53
11	岩滝小学校	プール施設	CB	1	47	1979	S54	41	旧	-	-			長寿命	C	B	C	C	C	50
12	石川小学校	校舎	RC	3	2,185	1979	S54	41	旧	済	済	H17	26.5	長寿命	D	B	C	C	C	48
13	石川小学校	体育館	RC	1	442	1974	S49	46	旧	済	済	H17	15.3	長寿命	B	B	C	C	C	53
14	石川小学校	プール施設	W	1	29	1993	H5	27	新	-	-			長寿命	C	C	B	B	B	62
15	三河内小学校	校舎	RC	3	2,761	1973	S48	47	旧	済	済	H15	19.7	長寿命	D	B	C	C	C	48
16	三河内小学校	体育館	RC	1	567	1975	S50	45	旧	済	済	H17	20.3	長寿命	C	C	C	C	C	40
17	三河内小学校	プール施設	RC	1	73	1998	H10	22	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75
18	市場小学校	校舎1	RC	3	1,831	1971	S46	49	旧	済	済	H15	20.5	長寿命	C	B	C	C	C	50
19	市場小学校	校舎2	RC	2	989	1972	S47	48	旧	済	済	H15	17	長寿命	D	C	C	C	C	37
20	市場小学校	校舎4	S	2	324	2002	H14	18	新	-	-			長寿命	B	B	A	A	A	91
21	市場小学校	体育館	RC	1	1,221	1978	S53	42	旧	済	済	H17	22.6	長寿命	C	B	C	C	C	50
22	市場小学校	プール施設	S	1	20	1975	S50	45	旧	-	-			長寿命	B	C	C	C	C	43
23	山田小学校	校舎	RC	3	2,244	1977	S52	43	旧	済	済	H17	22.5	長寿命	D	B	C	C	C	47
24	山田小学校	体育館	RC	1	497	1977	S52	43	旧	済	済	H17	24.9	長寿命	C	C	C	C	C	40
25	山田小学校	プール施設	CB	1	38	1973	S48	47	旧	-	-			長寿命	B	C	C	C	C	43
26	加悦中学校	校舎1	RC	2	585	2015	H27	5	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100
27	加悦中学校	校舎2	RC	3	4,286	2016	H28	4	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100
28	加悦中学校	体育館	RC	2	1,888	2015	H27	5	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100
29	江陽中学校	校舎1	RC	2	2,158	1986	S61	34	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75
30	江陽中学校	校舎2	RC	3	3,404	1986	S61	34	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75
31	江陽中学校	体育館	RC	1	1,411	1979	S54	41	旧	済	済	H17	27.3	長寿命	B	C	C	C	C	43
32	江陽中学校	武道場	S	1	242	1967	S42	53	旧	-	-			長寿命	B	C	C	C	C	43
33	橋立中学校	校舎1	RC	3	3,294	1980	S55	40	旧	済	済	H18	31.5	長寿命	D	B	C	C	C	47
34	橋立中学校	校舎2	RC	3	558	1981	S56	39	旧	済	済	H18	33.5	長寿命	B	B	B	B	B	75
35	橋立中学校	校舎3	RC	3	990	1981	S56	39	旧	済	済	H18	28.4	長寿命	B	B	B	B	B	75
36	橋立中学校	体育館	RC	1	1,148	1981	S56	39	旧	済	済	H18	27.9	長寿命	D	B	B	B	B	69
37	橋立中学校	プール施設	CB	1	9	1980	S55	40	旧	△	-			長寿命	B	C	C	C	C	43

※築年数の基準年は、令和2(2020)年

●建設年度別健全度評価

(評価点)



築年数の経過とともに健全度が低くなる傾向にある。
優先的に改修工事等の対策を行う必要がある健全度が40点以下の建物は6棟あり、全て築年数が40年以上の建物である。

旧耐震基準の建物(28棟)は全て、耐震性があるまたは耐震補強済みである。
そのため、長寿命化を検討する建物は新耐震基準の建物9棟、旧耐震基準の建物28棟、合計37棟を対象とする。



4. 学校施設整備の基本的な方針等

学校施設の規模・配置計画等の方針

学校施設の長寿命化計画の基本方針

- ・予防保全型の維持管理、計画的な修繕や改修等の実施により、施設の長寿命化と財政負担の平準化を図る。
- ・必要となる改修や設備の設置等により、施設の快適性の向上を図る。
- ・児童生徒数の動向に注視しつつ、更新（改築）時における空き教室などの不要な教室の減築又は学校施設の統合を図る。

学校施設の規模・配置計画等の方針

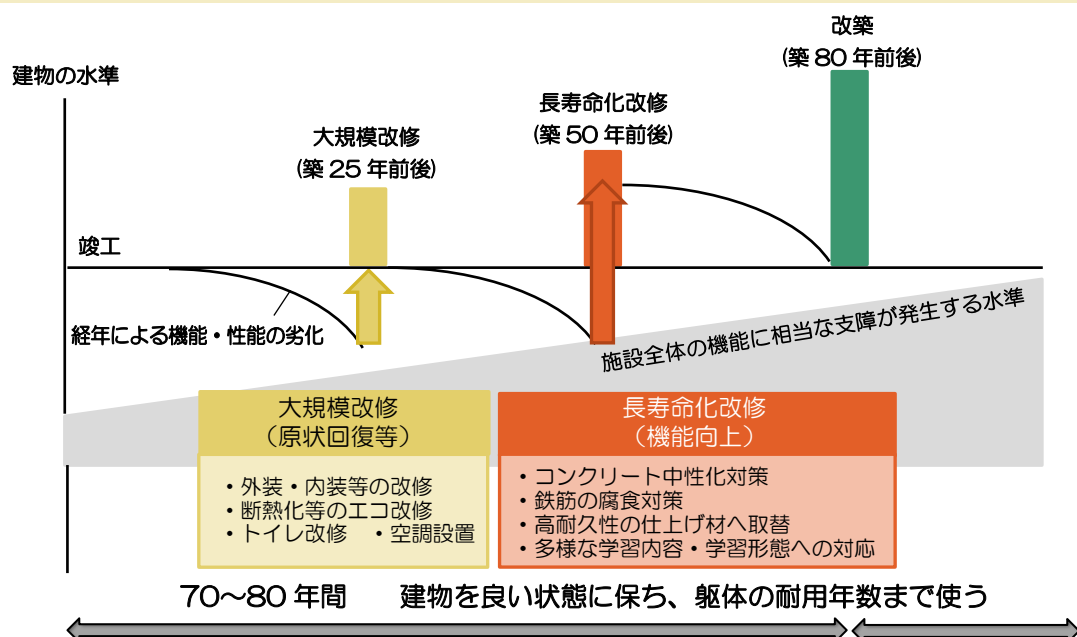
児童数の減少と財政負担という課題を抱える中で、「学校等の適正規模適正配置に関する基本方針」（平成23年）より、平成34(2021)年度での一斉統合を基本とし、旧町ごとに一つの既存校舎を活用する。」としている。

小学校の再編については、一斉再編でなく可能なエリアから速やかに再編を進め、中学校の再編については、当面は現在の配置を維持していく。

改修等の基本的な方針

長寿命化の方針

- ・誰もが安全で安心して使用できる学校施設を目指すため、計画的に大規模改修と長寿命化改修を行い、学校施設を健全な状態に保ちつつ、可能な限り長く使用する。
- ・大規模改修や長寿命化改修により電気・機械設備、内部仕上のグレードアップを行い、安全性や機能性の高い学校を長期的に維持管理していく。



6. 長寿命化の実施計画

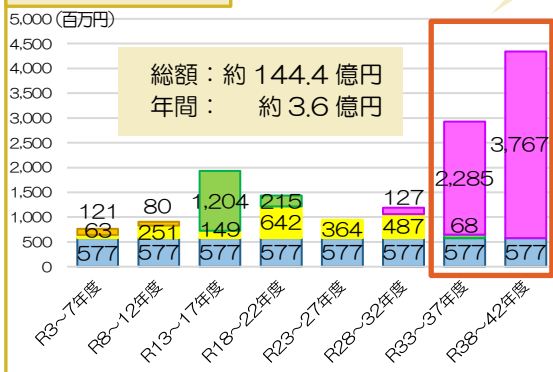
5 力年の実施計画

(年度) (事業内容)	令和 3 (2021)	令和 4 (2022)	令和 5 (2023)	令和 6 (2024)	令和 7 (2025)
部位修繕 (屋根・屋上)		加悦小 校舎 1	市場小 校舎 2	三河内小 校舎	石川小 校舎
部位修繕 (外壁)		加悦小 校舎 1	三河内小 体育館	山田小 体育館	
トイレ改修 (洋式化等)	橋立中 校舎・体育館	三河内小 校舎・体育館 市場小 校舎・体育館 山田小 校舎・体育館			

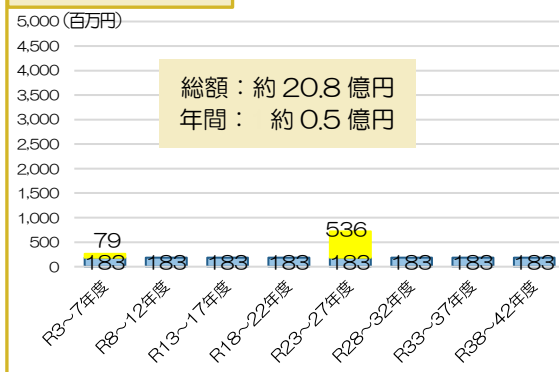
令和33(2051)年以降に多くの棟が改築時期に達し、改築費用が10年間で60億円を超える費用が発生することになる。
従って、それまでに、学校全体の最適な配置・規模や他の施設との複合化等の検討を進める必要がある。

40 年間の実施計画

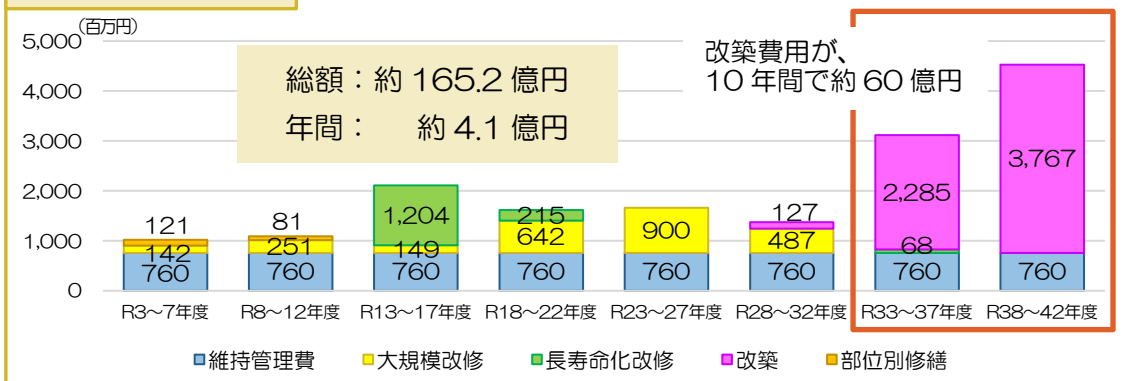
与謝野町立小中学校



橋立中学校



40年間の事業費（全体）

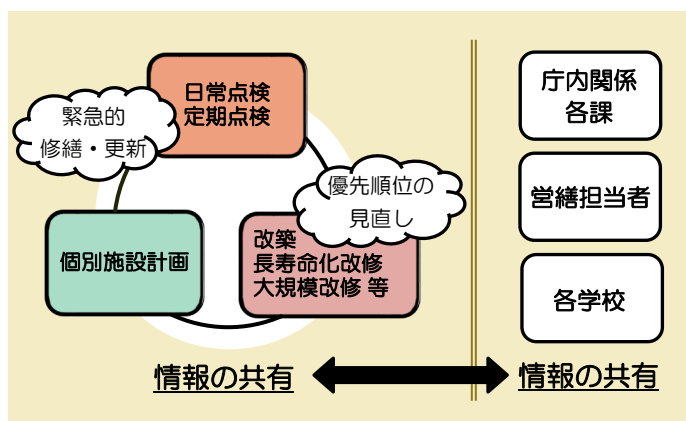


7. 長寿命化計画の継続的運用方針

情報基盤の整備と活用

計画の見直し等を行うための基礎資料とするため、以下のような情報の整備を図り、実効性のある予算措置を設定できる事業サイクルを確立し、長寿命化計画に反映させ優先順位を見直すことで、継続的に運用できるメンテナンスサイクルの構築を図る。

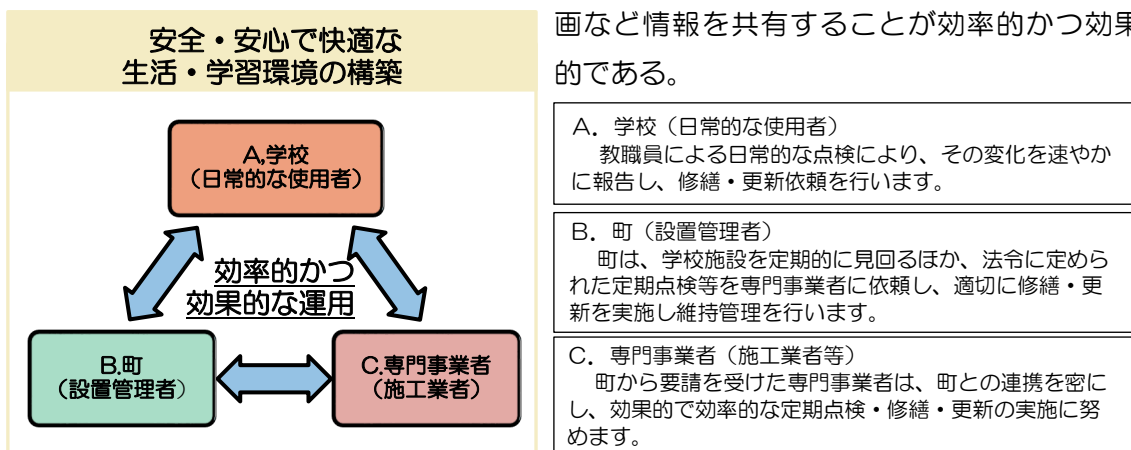
日常点検や定期点検により明らかとなる緊急性を要する修繕・更新事項、優先順位の高い修繕・更新事項などの情報を一元化し、庁内関係各課や営繕担当者、各学校と共有する。



推進体制等の整備

効果的な学校施設の長寿命化計画を策定し、継続的に運用し、安全で快適な学校施設を維持するためには、「学校・町・専門事業者」が連携した維持管理体制が重要となる。

この体制をより強化するためには、施設情報や点検記録、修繕履歴、今後の修繕・改善計画など情報を共有することが効率的かつ効果的である。



フォローアップ

整備計画の整備方針に基づき学校施設を維持させていくことを前提に学校施設の改修等の優先順位を設定する。

事業の進捗や点検等から得られる学校施設の状況や町全体の計画や個別の事業費の精査などにより、概ね5年ごとに計画の見直しを行う。

